

寒中お見舞い申し上げます～惻隱の情～



平成24年が、明けました。
鳥インフルエンザに新燃岳の噴火、そして、東日本大震災、さらには政治や経済の混迷、それに伴う国民生活の逼迫等々、辛くやりきれない思いで新年を迎えました。

そういう折、以前接した本にあった次の言葉を思い出しました。
「惻隱(わいん)の心は仁(に)の端(は)なり」
「惻隱とは、人の不幸や難事に対して思いをはせ、痛ましく思うこと」であり、
「仁は、人として相手を思う心の在り方」を意味します。
つまり、この言葉の意味するところは、
「思いやりの心は、人として人と思う心の原点、始まりである」ということ
になります。

孤独死や年間自殺者3万人という事態が常態化している社会は、決して健全ではないでしょう。皆が厳しい、辛い時期だからこそ助け合い、支え合う社会であって欲しいと思います。
小さい頃、家にしょう油や砂糖がなくなった時、母にお隣さんへ、それらを少し借りに行かされたものです。又、お隣さんも借りに来ていました。小さな小さな相互扶助の社会が、そこにはありました。
今、求められているのは「惻隱の情」であり、この相互扶助の心や社会的組織、仕組みの再構築ではないでしょうか。
一刻も早い東日本大震災からの復興や原発事故の収束が望まれるこの辛く厳しい時こそ、農耕民族を原点とする日本人の思いやりの心をあらゆる場面、あらゆる機会に発揮したいものです。



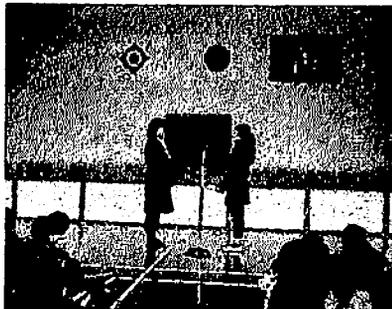
2月の主な行事

今月の生活目標	
きまりよいうか歩行をしよう	

- 7日(火) 委員会活動
- 14日(火) 新入児保護者説明会
- 17日(金) なわとび集会
- 21日(火) 代表委員会

※ 予定ですので、変更の可能性があります。御了承ください。

児童用図書の新着～渡辺妙子さんから～



串間市在住の渡辺妙子さんから、約400冊もの児童用図書を寄贈いただきました。
地域コーディネーターの矢野さんのお知り合いで、その関係から本校に贈っていただきました。
始業式の後、寄贈式を行い全校でお礼を言いました。

【山田宗彦図書委員長さんのお礼】

子供達の読書活動が、一層活発になることと思います。ありがとうございました。

地震・津波避難訓練～高台へ～

阪神・淡路大震災から17年、地震・津波を想定した2回目の避難訓練を行いました。



【校舎の外へ避難】

1回目は、校舎3階への避難を行いました。今回はより大きな津波を想定して西町体育館方面への避難を実施しました。地震発生後の対応の後、各教室から学級毎に直接南郷団地へと向かう訓練をしました。



【南郷団地への避難】



【学校外へ避難】

初めての訓練で心配しましたが、10分程度で南郷団地へ避難することができました。今後は、休み時間等における対応を研究していくことが課題です。

さようならフェニックス～学校を見守って50周年～



今上天皇(今の天皇陛下)が御成婚の折、校内に記念植樹されたフェニックスの木が害虫により枯死し、今回伐採しました。
撤去した造園業者の方の話によると樹齢は50年以上経っているだろうとのことでした。

半世紀以上にわたって南郷小学校を見守ってくれたフェニックスに、別れを告げることになりました。
もう少し早く、防虫駆除の手当をしとければと悔やまれます。
伐採した後は、小さな植樹の記念碑があります。
来校された際には立ち寄られ、あの大きかったフェニックスを思い出して下さい。
一抹の寂しさを覚える年の初めとなりました。



南郷中学校区3校合同研修会～小中連携、一貫推進～

小中連携・小中一貫教育推進の取組として、南郷中学校区3校の合同研修会を開催しました。前回は、夏休みの3校の職員が一同に会って研修会を行いました。



【研究授業風景】

今回は南郷中学校、南郷小学校、鴻上小学校をそれぞれ会場として行いました。各会場とも活発な意見交換が成されていました。



【研究協議会風景】